

スケジュール

時間	テーマ	講師
13:30～ 16:30	人間をダメにする経営からの脱却 生き残るための 絶対条件	(株)S・Yワークス 代表取締役 佐藤 芳直

録画配信あり

録画配信をお申し込みの方…配信期間:2026年2月13日(金)～2026年2月20日(金)

金額 ■会場参加・録画配信ともに同一料金です。(料金は全て税込)

お一人様 33,000円／2名様60,000円(お一人様3万円)／
3名様以上のご参加でお一人様28,000円

よりよい未来のために、今学びましょう。
是非、経営者・幹部・リーダーの皆さままでお越しください。

お申し込み方法

同封のお申込書に記載し、
FAX をお送りください。

または

右記QR コードから
お申し込みください。
※ネット決済が可能です



弊社担当スタッフより
折り返しご連絡いたします。
料金のお振込方法等ご連絡致します。



ご入金完了(正式申込み)
ご入金がお済みになり次第、
正式なお申込みとなります。



セミナー
当日

同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAX にてお送り下さい。FAX 用紙が確認できましたら、S・Y ワークスの担当者より
お電話をさせていただきます。その後、ご入金が確認できましたら、お申し込み完了となります。

会場 トラストシティカンファレンス京橋 TRUST CITY CONFERENCE Kyobashi

住所 〒104-0031
東京都中央区京橋2-1-3
京橋トラストタワー4階

アクセス 東京駅八重洲南口より徒歩4分
地下鉄銀座一丁目駅より徒歩5分
地下鉄京橋駅より徒歩1分



佐藤芳直の真髓

How to survive
佐藤 芳直ワンマンセミナー

生き残る ための 絶対条件 セミナー

人間をダメにする
経営からの脱却。

人手が足りないから…。辞められたら困る…。
だからこれでいい、と諦めていませんか？

日時 2026年 2月6日(金)
13:30～16:30 (開場:13時15分)

場所 トラストシティカンファレンス京橋



佐藤芳直に問う！

～ 経営者の未来思考と“生きる条件”を読み解く

経営は常に選択の連続です。AIか、人間か。合理化か価値創造か。効率か、幸福か。今、その答えが曖昧なまま進めば、企業の未来は大きく分かれます。だからこそ今回、経営者が抱えるリアルな疑問・葛藤・迷いに対し佐藤芳直が直接答えるQ&A形式で届けます。—— **答えは、セミナーの中にあります。**

Q1. 何故、今このテーマを経営者・幹部の皆さまに伝えないといけないと思ったのでしょうか？

A. 明らかに、**人間の能力とAIの能力が、交差する**十年を迎えています。以前はシンギュラリティと言いましたが、AI・デジタルというものは、真の利便性には繋がらないということも皆さん感じているはずです。しかし、時代の中で人手不足、あるいは人財が喪失されていく状況が続き、様々な部分をAI・デジタルに頼らざるを得ない動きが加速しています。そんな現状に多くの経営者は、不便さや馬鹿馬鹿しさを感じてはいるものの、仕方ないと思いながら、AI化・デジタル化を進めているのです。それが真のお客様第一主義に繋がっているかといえば、もちろん繋がっていません。この状況を客観的にみれば、**経営者は人間の能力を矮小**

化し、人間を軽く見ているということになります。人財教育や社員に求めるハードルをどんどん低くしてしまっているのです。本来、人間の価値が発揮されるような現場であっても、AIやデジタルに勝ることができない人間がその現場を担当しているという現実があります。この流れでいけば、大資本企業や高度にAI化・デジタル化を進めている企業は、もちろん合理性の中で生き残っていきますが、**高い付加価値や高い顧客満足を人間で実現しようと考える成長戦略を組み立ててきた企業**に太刀打ちできるはずありません。全てが交差する時を迎え、今がそのギリギリ限界の局面だと思い、急遽このセミナーを企画しました。

Q2. 人間にしかできないことを人間から奪い、AIやデジタルに頼った結果どうなってしまっているのでしょうか？

A. 例えば、辞めてしまわないように軽度の人財育成をする。あるいは、マニュアルで行動する項目を限定化し、誰にでも分かるような仕組みに置き換え、誰にでもできる仕事にする。その結果、経営者はこう思います。「これなら、AI・デジタルと一緒にじゃないか。だったらそこを代替し経費を削減しよう」と…。非常に残念なことではありますが、**人間に期待しない経営**にいつの間にか、なっているのです。しかし、先ほどもお伝えした通り、**今人間が求めているも**

のは、人間の高い次元の付加価値、あるいは人間の高い次元のサービス力。つまり、社員をより一層高い次元で教育しなければ、その会社自体求められなくなるのです。高い次元で、社員を育もうとすれば非常に手間と時間がかかります。そのため、なかなか注力しきれない、思い切った前に進めないという経営者が多くいるのも承知の事実です。しかし、これは「人間に期待をしない＝人間をダメにしていく経営」だと正直思います。

Q3. では、経営者は何をしたらいいのでしょうか。

A. まずは**人財育成、あるいはマニュアルをしっかりと高度に見直す**ことです。そうしなければ、付加価値性の高い企業には絶対になれないと思います。人間の力で企業の成長性を作れない企業になるということは、社員の人間性が失われ、企業の成長性も失われていくということに繋がります。

Q4. このままAI化・デジタル化が進むと、日本はどうなってしまっているのでしょうか。

A. コロナによって非接触型という大義名分の下、AI化やデジタル化が加速した感覚が皆さんにもあると思います。「非接触型」が導入されたことにより、人間の仕事量が一気に減少し、残された仕事すら非接触型に変わっていききました。結果として失ったものは、人間性の中心でもあり、本来仕事の目的の一つでもある**コミュニケーションによって人間関係を濃密にしていく**という部分です。このことが時代の流れにより、「人間じゃなくて、デジタルでもいい」という悲惨な状況を招きました。働いている人間は自分の仕事の領域がどんどん狭められ、そのことにも鈍感になり、AIやデジタルに自らの仕事を取って替わられても仕方がないと思い始めたのです。

皆さんもお気づきの通り、**AI・デジタルが出す結論やサービス力のレベルというものはどこも同じ**です。例えば、電話で何かを問い合わせた時、対応してくれるAIは大筋全て同じような流れだと思いませんか。AI・デジタルに頼る企業はどこも同じようになる。つまり、**より安く・より便利ということを売り物にしている企業に収斂されていく**ことなのです。より安く・より便利という方向に進んでいくと、人間が関わる余地が益々小さくなっていきます。そうすると、**より人間に期待しない仕組みになっていく**のです。しかし、それは人間を幸福にしません。何より、社員が自分たちの仕事の先に夢を見つけることすらできない、あるいはロマンを見つけることもできないのです。その結果、ものすごくつまらない企業経営とつまらない社会を招くことになるのではないかと思います。

Q5. このセミナーでは、どのようなことを皆さんにお伝えしたいと考えていますか？

A. ほとんどの経営者が、社員と理想や理念を共有し、一体化された経営でありたいと願っています。「どちらの方向に行くのですか？」と尋ねられた時、**社員一人ひとりが日々幸せを感じ、その幸せの上にお客様の高い満足が実現されていく**。「あなたがいるからこのお店を選んだ」「あなたがいるから、安心してこの園を選んだ」これは人間の憧れでもありロマンでもあります。つまり、**人間で選ばれるブランド**を創りたいと皆が思っているはずなのです。もちろん、AIやデジタルによって人間が関わるよりも、より正確かつ確実な部分はあります。しかし、**人間が生み出すこ**

とができる情熱や感動や共感性というものの、それを作り上げられる人間が、より強固な現場をつくる。それが、ブランドになるのです。人間をダメにする経営から脱却し生き残るためには、どのような**戦略ヴィジョンを立てる**のか。どのような**ロマンを社員と共有**しながら進むのか。自分たちの**情熱はどこに向ける**べきなのか。その3つをとことん掘り下げてお伝えをします。もちろん、人間がいるからこそ経営ができる。では、どうすればそれに足る社員、一体化された社員集団になっていくのだろうかという視点も、久しぶりに深く掘り下げて話をしたいと思っています。『**真に幸せな経営とは**』ということを共に考える時間にしていきましょう。

佐藤芳直